

ティファール 電気ケトル

Théière Lock Control

ティエール ロック コントロール 1.5L

BJ815*



キリリ線

Ref:3206001211-02

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※ 商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称と機能	6

その他

お手入れの方法	14
故障かなと思ったら	16
製品仕様	17

使い方

使い方	8
使い終わったら	13

- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

● 本製品は家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。



警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

電源・電源コード



指示 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する



他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。

● 延長コードも定格15Aのものを単独でお使いください。

電源プラグや電源コードに損傷があるとき、または使用中に異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。

異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。

電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない

そのまま使うと、感電、ショートや発火するおそれがあります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

お取り扱い



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しない

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



禁止

ふたを開けたまま湯を沸かさない

湯沸かし中は、確実にふたを閉めてください。湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。

ふたを持って本体を移動させない

落下してけがの原因になります。

注ぎ口をふきなどでふさがない

湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったりしない

湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。

水につけない

感電・ショート・火災、故障の原因になります。

本体底部や電源プレートを水につけたり、水に濡らしたりしない。

絶対に丸洗いはしない

ショートしたり、感電するおそれがあります。

ふたを勢いよく閉めない

湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。

ケトルを転倒させない

湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

MAX(満水)目盛り以上の水を入れない

水を入れすぎた場合、熱湯が飛び出すことがあります。やけど・感電・けがをするおそれがあります。



禁止

電源プレート中央の接続部(金属部)や本体接続部、電源プラグをなめさせない

感電やけがのおそれがあります。特に乳幼児には触らせないでください。

氷を入れるなどして保冷用に使わない

内蔵の電気部品に水や露がつき、感電・故障の原因になるおそれがあります。

直火(ガス台などや電気ヒーター)、電磁調理器(IH)、電子レンジなどに使わない

火災・熱変色・変形・故障の原因になります。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

本製品は湯沸かしとお茶の抽出・煮出し専用であるため、用途にそぐわないチョコレートや牛乳、麺や卵などの食材を調理する目的では使用しない

ふきこぼれたり、食材が飛び出すことがあります。やけど・感電・けがをするおそれがあります。

ふたを外すときに出る蒸気に触れない

熱い蒸気でやけどをするおそれがあります。

水以外の液体を入れたり、沸かしたりしない

泡立ちが起これ、内容物がふき出して、やけどの恐れがあります。



指示

注ぐ際にはしっかりとふたをする
内容物がふき出して、やけどのおそれがあります。

安全上のご注意 (続き)

注意 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

電源・電源コード

指示 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
コンセントからはずす
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

指示 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

お取り扱い

指示 コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードを引っかけないように気をつける
本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。

本製品はガラス製品のため、取扱いに注意する

- 冷えた状態の本体に急に熱いものを入れたり、熱い状態の本体に急に冷たいものを入れたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしない。

ガラスが割れて、ケガの原因になります。

禁止 湯沸かし中または湯沸かし直後は、ふたを開けたり、茶葉を入れたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしない
注ぎ口などから熱い蒸気が出て、やけどをするおそれがあります。

沸かし中は、移動させない

湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。

使用中および使用直後に取っ手以外の本体および注ぎ口には触れない
やけどをするおそれがあります。

ガラスに傷やひび、欠けがある場合は使用しない

けがの原因となります。

禁止 専用の電源プレート以外には使わない。また、付属の電源プレートを他の機器に転用しない
発火、故障の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない

本体のガラスやプラスチック部分が熱で損傷し、けがややけどをするおそれがあります。

ガラス窓の近くで使用しない

ヒビが入ったり割れることがあります。

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上、可燃物の近く（カーテンの近くなど）では使わない

火災の原因になったり、けがややけどをするおそれがあります。

瓶やカップなどを本体の中に入れていない

ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。

電源プレート中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだり、ゴミを付着させない

感電、ショート、発火の原因になります。

壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

湯沸かし中は、お湯を注がない

湯が飛び散りやけどのおそれがあります。

使用上のご注意

- 本体に水が入っていないときは、スイッチをオンにしない
故障の原因になります。
- ふたを開けた状態のまま、湯を沸かさない
本製品は、ふたをした状態で湯を沸かす仕様になっています。
- 水質改善材・浄化材（備長炭）などを本体の中に入れてください
故障の原因になります。
- 本製品は一般家庭用です
- 本製品は必ず屋内で使用してください
- 直射日光が当たる場所への本製品の設置、ご使用はお控えください
故障の原因になります。
- 長期間使用しないときは、十分に乾燥させたあと、においがつかないようにポリ袋などに入れて保管してください。
- 本製品は湯沸かしとお茶の抽出・煮出し専用となっております。
用途にそぐわないチョコレートや牛乳、麺や卵などの食材を調理する目的ではお使いになれません。
ふきこぼれたり、食材が飛び出すことがあり、やけど・感電・けがをするおそれがあります。

お知らせ 工場出荷前に水を入れて検品をしております。まれに、本体内に白い跡が残っている場合がございますが、検品時の水の跡ですので、2～3回すすいだ後、安心してお使いいただけます。

注意 ジャーポットと違い、湯沸し中や沸とう後は本体が熱くなっていますので、ご注意ください。

各部の名称と機能

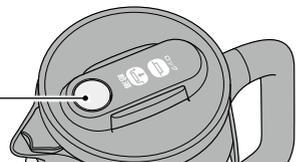
給湯ロック機能

※ 給湯ロックはふたの開閉をロックするものではありません。

ロック状態

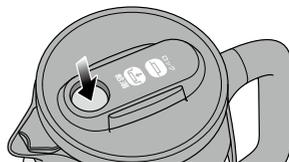
給湯ロックボタンが上がっているときは、注ぎ口からお湯が出ません。お湯を注ぐとき以外はロックの状態にしてください。

給湯ロック
ボタン



ロック解除

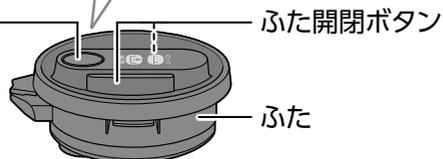
給湯ロックボタンを押した状態にすると、ロックが解除され、注ぎ口からお湯を出すことができます。



注意

ケトル本体を90度以上傾けた場合、ロック状態でもお湯が注ぎ口から漏れ出すことがありますので、ご注意ください。

給湯ロック
ボタン



ふた開閉ボタン

ふた

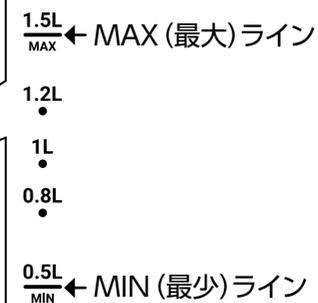
茶こし

注ぎ口

取っ手

本体

容量目盛



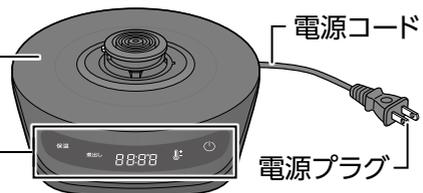
- 本製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れます。

電源プレート

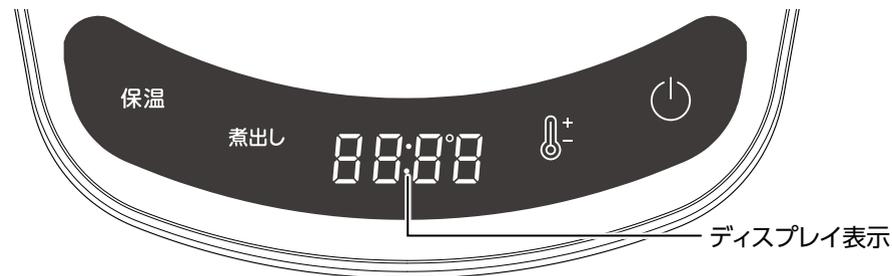
電源コード

操作パネル

電源プラグ



■ 操作パネル部



ディスプレイ表示

	電源ボタン 短く押す：電源オン／加熱の開始・停止 長押し：電源オフ（スタンバイモード）
	温度設定ボタン 設定した温度に加熱します。 ボタンを押すごとに、温度を設定することができます。 設定可能温度：100・95・90・85・80・70・60・40℃
	煮出しボタン 加熱後に押すと、煮出し時間を設定します。 ボタンを押すごとに、煮出し時間を設定することができます。 (加熱前に設定することはできません) 設定可能範囲：1～20分（1分単位）
	保温ボタン 加熱後に押すと、設定した温度で保温することができます。 ボタンを押すごとに、保温する時間を設定します。 100℃に温度設定した場合は95℃で保温されます。 (加熱前に設定することはできません) 設定可能範囲：5～60分（5分単位）

※ 操作時に電子音が鳴る場合があります。電子音を消したり、音量を調節することはできません。

パネル操作およびケトルの稼働がない状態で10分経過すると、操作パネルはスタンバイモードに入ります。

<スタンバイモードとは>

電源ボタン以外の表示がオフになります。(電源ボタンのみ点滅) スタンバイモード中に再度電源ボタンを押すと、ディスプレイの表示がオンになります。

スタンバイモード後に再度加熱をする際は、温度設定・煮出し時間・保温時間は前回の設定が保持されますが、コンセントから電源プラグを抜くと初期値に戻ります。

使い方

1 本体に水を入れます。

- ① ふたを本体から外します。
- ② 本体に水を入れます。
- ③ 茶こしをふたから外します。
茶こしを引っ張り、ふたから取り外してください。
- ④ ふたを本体に取り付けます。



注意 MAX（満水）以上に水を入れて加熱しないでください。
入れすぎた場合、熱湯が飛び出すことがあります。

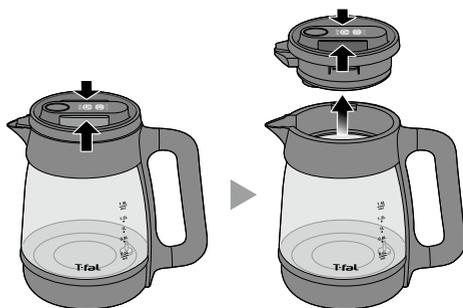
- お願い**
- 水を入れないまま、空だきをしないでください。故障の原因になります。
 - 初めて使用する際は、念のため最初の2～3回はすすいでからご使用ください。
 - 電源プレートの上に本体を載せた状態のまま水を注がないでください。
 - ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、水に含まれるミネラル成分が本体内部に付着しやすくなります。

お知らせ 水量目盛りが一番下（0.5L）以上の水量でご使用ください。

ふたの開け方、閉め方

開け方

ふた開閉ボタンを押しながら、ふたを上を持ち上げます。



閉め方

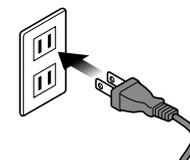
ふたをケトル本体に戻し、上から押しこみます。

注意

ふたを片側ずつ、カチッと音がするまで上から確実に押しこみます。ふたが完全に取り付けられていることを必ず確認してください。



2 電源プレートのプラグをコンセントに差し込みます。



3 電源プレートに本体をセットします。

本体をセットすると、現在の水温が表示されます。



お願い 電源コードを電源プレート裏側に収めて長さを調節し、電源プレートの切り込みに電源コードを確実にセットしてください。

- 電源プレートは清潔で平らなところに置きます。
- 電源プレートにセットする際は、本体が安定していることを確認してから手を離してください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。
- 付属の電源プレート以外は使用しないでください。

4 温度設定ボタンを押して加熱を開始します。

注意

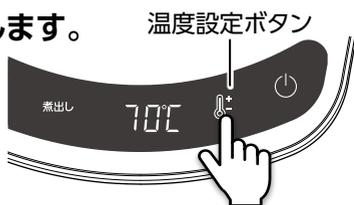
お湯を沸かしている最中は、絶対にふたを開けたり、本体に触れたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをすることがあります。

次ページへ続く ▶

温度設定モード — お好みの温度に加熱する

① 温度設定ボタンを押して、温度を設定します。

ボタンを押すごとに100℃、95℃、90℃、85℃、80℃、70℃、60℃、40℃の温度が選択できます。
※ 一度沸とうさせてから温度が下がるのではなく、直接設定温度になります。



温度を設定すると、約5秒後に加熱が開始され、温度設定ボタンが点滅します。

急いでいる場合は、温度表示が点滅している間に電源ボタンを押すと、すぐに加熱が開始されます。

- 加熱を途中でキャンセルする場合は、電源ボタンを押します。

お湯が設定した温度に達すると、ピップと鳴り、加熱が停止します。

- 加熱時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
- ディスプレイ表示の温度と実際の水温は最大で±3℃の誤差が出る場合があります。

煮出しモード — お茶を抽出する

煮出しモードを使ったおすすめレシピは、オンラインレシピブックをご参照ください。

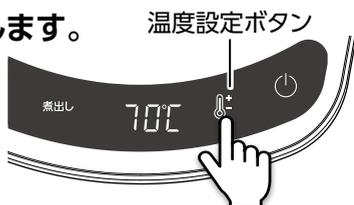
<https://www.t-fal.co.jp/recipe/kettles/theiere/>



お好みの温度に加熱したのち、煮出しモードを使わずに、付属の茶こしに茶葉を入れてお好みの濃さになるまでお待ちいただくことで、お茶を抽出することも可能です。

① 温度設定ボタンを押して、温度を設定します。

ボタンを押すごとに100℃、95℃、90℃、85℃、80℃、70℃、60℃、40℃の温度が選択できます。
※ 一度沸とうさせてから温度が下がるのではなく、直接設定温度になります。



温度を設定すると、約5秒後に加熱が開始され、温度設定ボタンが点滅します。

急いでいる場合は、温度表示が点滅している間に電源ボタンを押すと、すぐに加熱が開始されます。

- 加熱を途中でキャンセルする場合は、電源ボタンを押します。

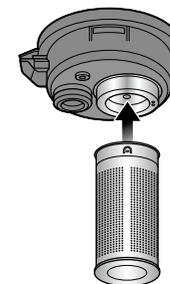
お湯が設定した温度に達すると、ピップと鳴り、加熱が停止します。

- 加熱時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
- ディスプレイ表示の温度と実際の水温は最大で±3℃の誤差が出る場合があります。

② 茶こしに茶葉を入れます。

③ ふたに、茶葉を入れた茶こしを取り付けます。

ふたを開け、ふた裏面の金属部にカチッと音がするまで茶こしを押し込みます。



注意 ふたを開けるときの熱い湯滴が落ちることがあるので注意してください。やけどをするおそれがあります。

④ ふたを閉めます。

⑤ 煮出しボタンを押して、抽出時間を設定します。

- ボタンを押すごとに、1～20分の間で1分単位で抽出時間を設定できます。



抽出時間を設定すると、約5秒後にタイマーがスタートし、煮出しボタンが点滅します。

- 急いでいる場合は、抽出時間設定後、5秒以内に電源ボタンを押すと、すぐに加熱が開始されます。
- 加熱を途中でキャンセルする場合は、電源ボタンを押します。

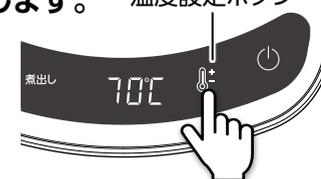
煮出し時間が経過すると、ピップと鳴ってお知らせします。

煮出し後は保温ボタンを押して、保温することもできます。→12 ページ

保温モード — 設定温度に加熱した後、保温する

① 温度設定ボタンを押して、温度を設定します。

ボタンを押すごとに100℃、95℃、90℃、85℃、80℃、70℃、60℃、40℃の温度が選択できます。
※ 一度沸とうさせてから温度が下がるのではなく、直接設定温度になります。



温度を設定すると、約5秒後に加熱が開始され、温度設定ボタンが点滅します。

急いでいる場合は、温度表示が点滅している間に電源ボタンを押すと、すぐに加熱が開始されます。

- 加熱を途中でキャンセルする場合は、電源ボタンを押します。

お湯が設定した温度に達すると、ピッピと鳴り、加熱が停止します。

- 加熱時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
- ディスプレイ表示の温度と実際の水温は最大で±3℃の誤差が出る場合があります。

② 保温ボタンを押して、保温時間を設定します。

保温ボタンを押すごとに保温する時間を設定します。
設定可能範囲：5～60分（5分単位）

- 100℃に温度設定した場合は95℃で保温されます。



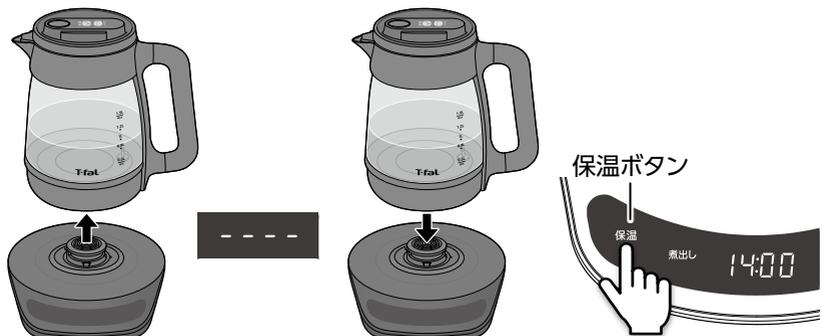
保温時間を設定すると、時間表示が点滅し、約5秒後に保温が開始され温度表示に変わります。

急いでいる場合は、時間表示が点滅している間に電源ボタンを押すと、すぐに保温が開始されます。

- 保温を途中でキャンセルする場合は、電源ボタンを押します。
- 保温中にケトル本体を持ち上げた後に保温を続けたいときは

保温中にケトルを持ち上げると、表示が---となります。

ケトルを戻すと、保温ランプが点滅しますので、10秒以内に保温ボタンを押すと、保温が再開します。



以下の場合には保温がキャンセルされます。

- ・ケトルを10分以上本体から外した場合
- ・ケトルを本体に戻した後、10秒以内に保温ボタンを押さなかった場合

保温を再開したい場合は、再度加熱したあとに保温ボタンを押して設定してください。

5 沸騰状態がおさまってから、給湯ロックボタンを押して、お湯またはお茶を注ぎます。

- 本体を電源プレートからはずしてお湯を注いでください。
- お茶を抽出した場合は、過度な抽出を防ぐため、茶こしを取り出し、必ずふたを再度取り付けてから注いでください。
- 本体を電源プレートに戻す際は、本体が安定していることを確認してから手を離してください。



● 湯沸かし中や湯沸かし直後は、絶対にふたを開けたり、ふた周辺や注ぎ口から出る蒸気に手を近づけたりしないでください。
やけどをすることがあります。

● ふたを開けたときに、ふた内部から熱い湯滴が落ちることがあるので注意してください。
やけどをすることがあります。



注意

● 取っ手以外の本体および注ぎ口は非常に熱くなりますので、触れないでください。

● お湯を注ぐ際、急に本体を傾けないでください。
特に満水時は、注ぎ口やふたから湯が飛び出すおそれがあります。

● 湯沸かし中・沸騰中はお湯を注がないでください。

● 煮出し後の茶こしは非常に熱くなりますので、取り外す際は市販のミトンなどを使ってください。
やけどをすることがあります。

6 注ぎ終わったら、給湯ロックボタンを再度押して「ロック」状態にします。

使わないときはロックする



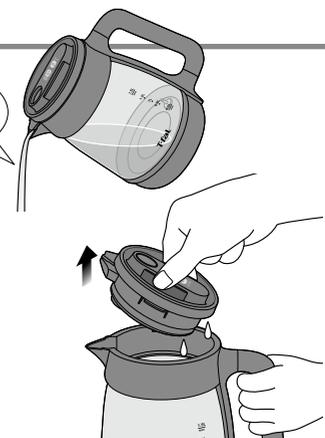
使い終わったら

● ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● ご使用後は、水あかや汚れの付着をおさえるため、お湯を残さず、本体内部を空にしてください。

● お湯がふたの中に残っている場合があります。ふたを外す際には、ふたを取っ手側に傾けながらゆっくりと外してください。

残ったお湯は捨てる



お知らせ ご使用後は、個人差により取っ手が熱く感じられる場合があります。

お手入れの方法

長期間清潔にご使用いただくためには、定期的にお手入れをしてください。

- △ 注意**
- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
 - 本体と電源プレートに水を浸けることは絶対におやめください。感電や故障の原因になります。

お願い 磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使用しないでください。傷がついたり変色したりするおそれがあります。

本体外側のお手入れ

本体が冷めるのを待ち、やわらかい布で拭いてください。
がっこな汚れには、ぬらした布に中性洗剤を含ませて擦り、拭き取ってください。



△ 注意 本体の丸洗いは絶対に行わないでください。

茶こし

本体から取り外し、ぬるま湯と中性洗剤を使いスポンジで洗います。

- 食器洗浄乾燥機もお使いいただけます。
- お手入れの後はよく乾燥させてください。

お願い 茶こしは強い力で押しついたりしないでください。
変形の原因になります。

茶こしの底は取り外して洗淨することができます。



ふた

水ですすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭き、乾かしてください。

本体内側のお手入れ

内側に汚れが目立ってきたら、定期的にお手入れをしてください。

- 本体内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、白いはん点、赤さび状のはん点など）は、水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。
衛生上問題はありませんが、ミネラル成分がたまると、湯沸かし中の音が大きくなる原因になったり、付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯に混じることがあります。
ミネラルウォーターやアルカリイオン水（ミネラル成分を多く含む水）を沸かしたときは、こまめにお手入れしてください。

通常のお手入れ

水でよくすすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。



お願い 熱や蒸気に触れる樹脂部品は、ご使用にともなって傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、変色したりザラザラしてきた場合は交換してください（有償となります）。

汚れが落ちにくい場合クエン酸を使って

- 1 水をMAX(満水)まで入れ、その中にクエン酸(15g程度)を入れて、かき混ぜます。
- 2 ふたを閉めて沸とうさせ、その後、約1時間放置します。
- 3 お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
- 4 クエン酸のにおいが気になるようでしたら、水だけを入れて、再度通常どおり沸とうさせ、お湯を捨ててください。

お願い 内側のステンレス部分をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。また、ステンレス部分は強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

故障かなと思ったら

このようなとき	原因	対処方法
作動しない、 または沸とう前に 止まってしまう	コンセントにプラグが入っていない。	電源プレートのプラグを確実にコンセントに差しこんでください。
	空だきしたため、安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れた。	本体を電源プレートからはずし、熱を冷ましてから水を入れてください。
水が漏れる・ふき出す	MAX（満水）目盛りより多く水が入っている。	水の量をMAX（満水）目盛り以下に減らしてください。
加熱されない	設定温度が現在の水温より低い。	設定温度を水温より高くしてください。
	水温を検知できない。	修理センターへご連絡ください。

■ 下記のような表示になったときは修理センターへご連絡ください。

表示	状態
E3	1分間、加熱しても温度が上がらない。
E5	水温を検知できない。

製品仕様

ティファール 電気ケトル Théière Lock Control 1.5L (ティエール ロック コントロール 1.5L)		
定格電圧	100V ~	
周波数	50/60Hz	
定格消費電力	1250W	
最大容量	1.5L	
質量（全体）	約1580g	
サイズ（全体）	幅	約17.3cm
	奥行き	約23.3cm
	高さ	約26.6cm
電源コードの長さ	約1.35m	
温度ヒューズ	192℃	

※仕様・デザインは変更になることがあります。ご了承ください。

※本製品は日本国内のみで使用できます。

※本製品は中国製です。

※標高の高い場所、厳寒地などでは所定の性能が発揮できない場合があります。

●長年ご使用の電気ケトルの点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- コード、電源プラグ、電源プレートに損傷が見られる。
- ご使用中にコードや電源プラグが異常に熱くなる。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- いつもより本体が異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体から水が漏れる。
- 損傷が見られる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。